

平成22年度 国産大豆の品質等に関する情報の整理事業

説明図・表

平成23年3月

財団法人 日本特産農産物協会

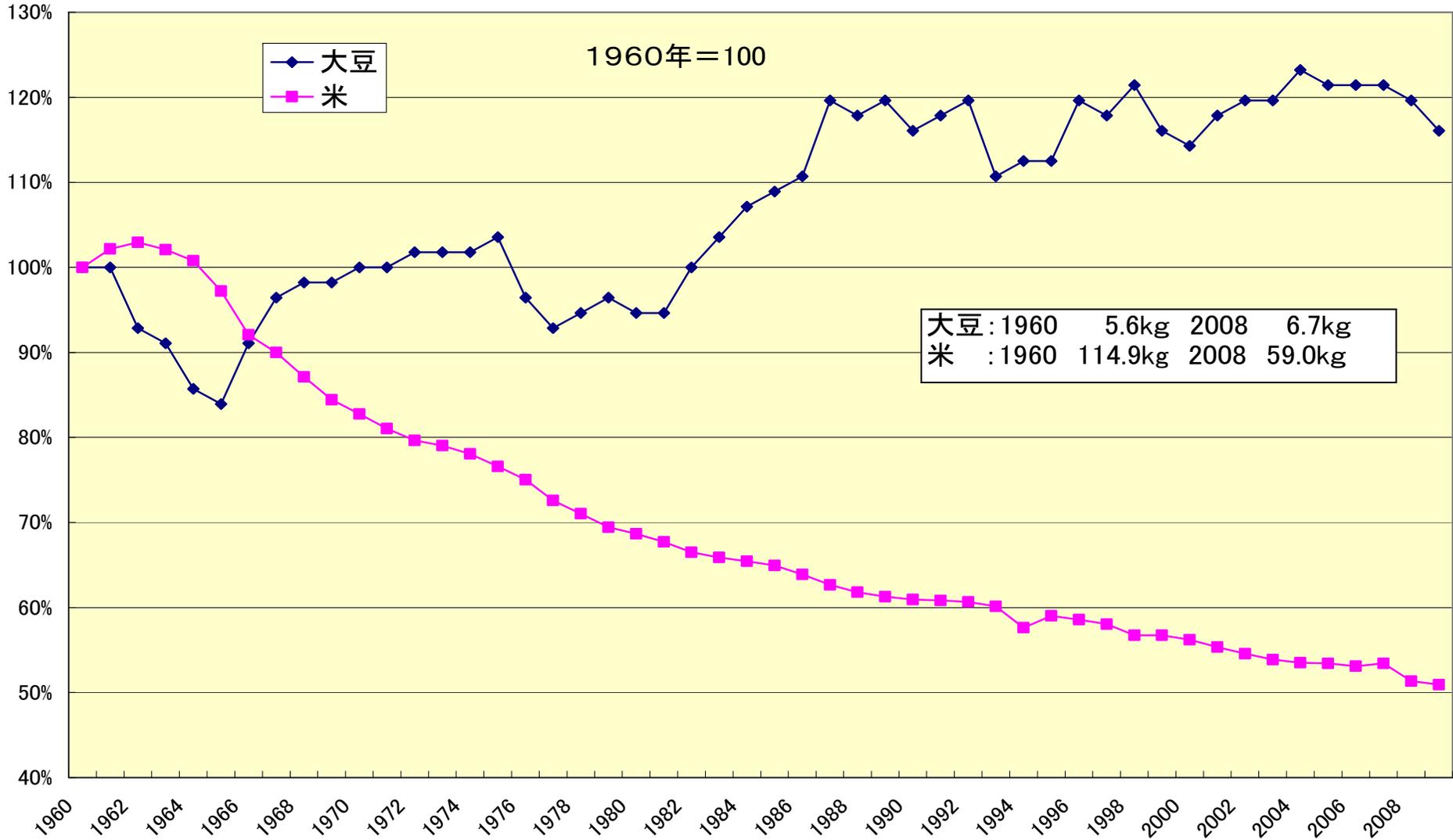
食料需給表 平成20年（2008年） 大豆

供給量		
国内生産量	262	千トン
輸入量	3,711	
在庫の増減量	-61	
国内消費仕向量	4,034	
国内消費仕向量の内訳		
飼料用	114	
種子用	7	
加工用	2,978	
減耗量	74	
粗食料総数	861	
粗食料1人1年当たり	6.7	kg
粗食料1人1日当たり	18.5	g
歩留まり	100.0	%
純食料	861	千トン

供給純食料1人当たり供給量	
1年当たり数量	6.7 kg
1日当たり数量	18.5 g

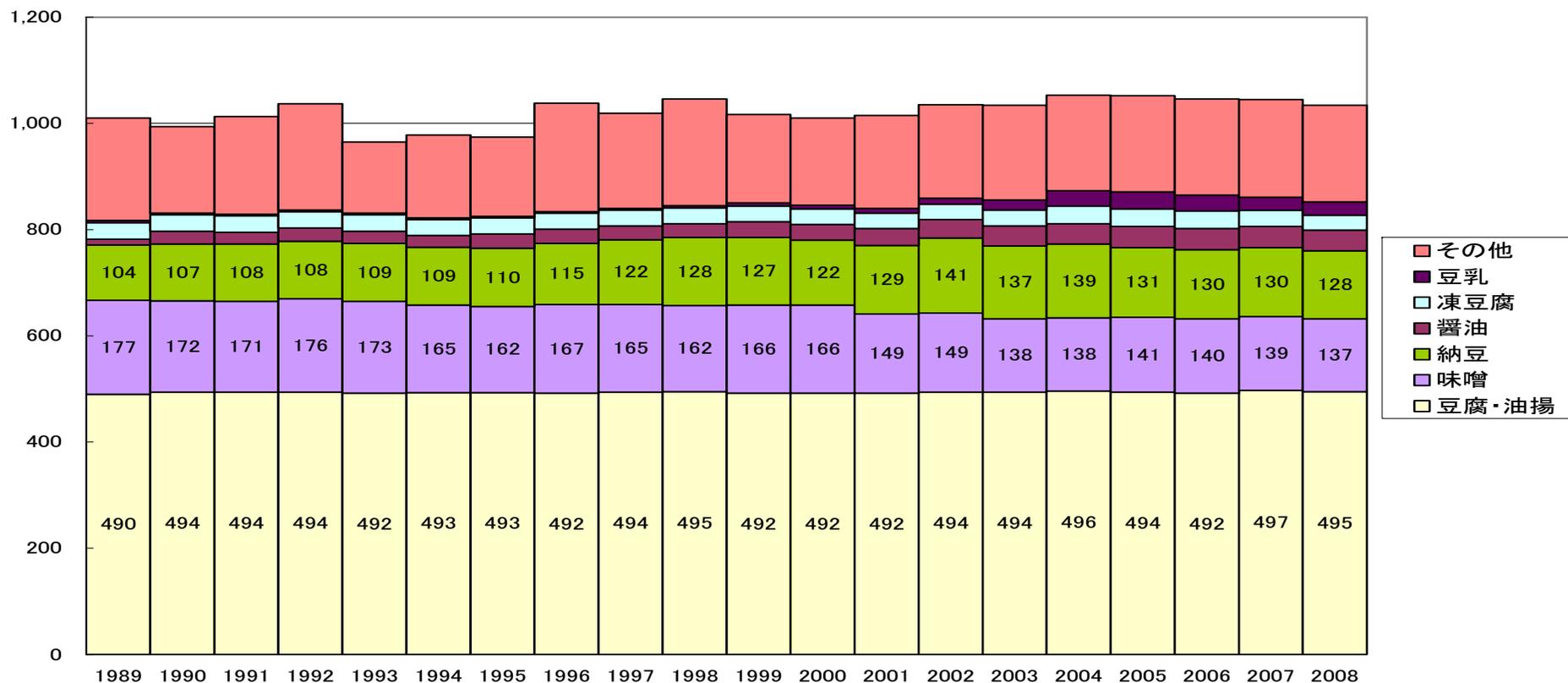
1人1年当たり供給純食料の推移

(食料需給表1960-2009年大豆・米比較)



食品用大豆の用途別使用量の推移

単位：千トン

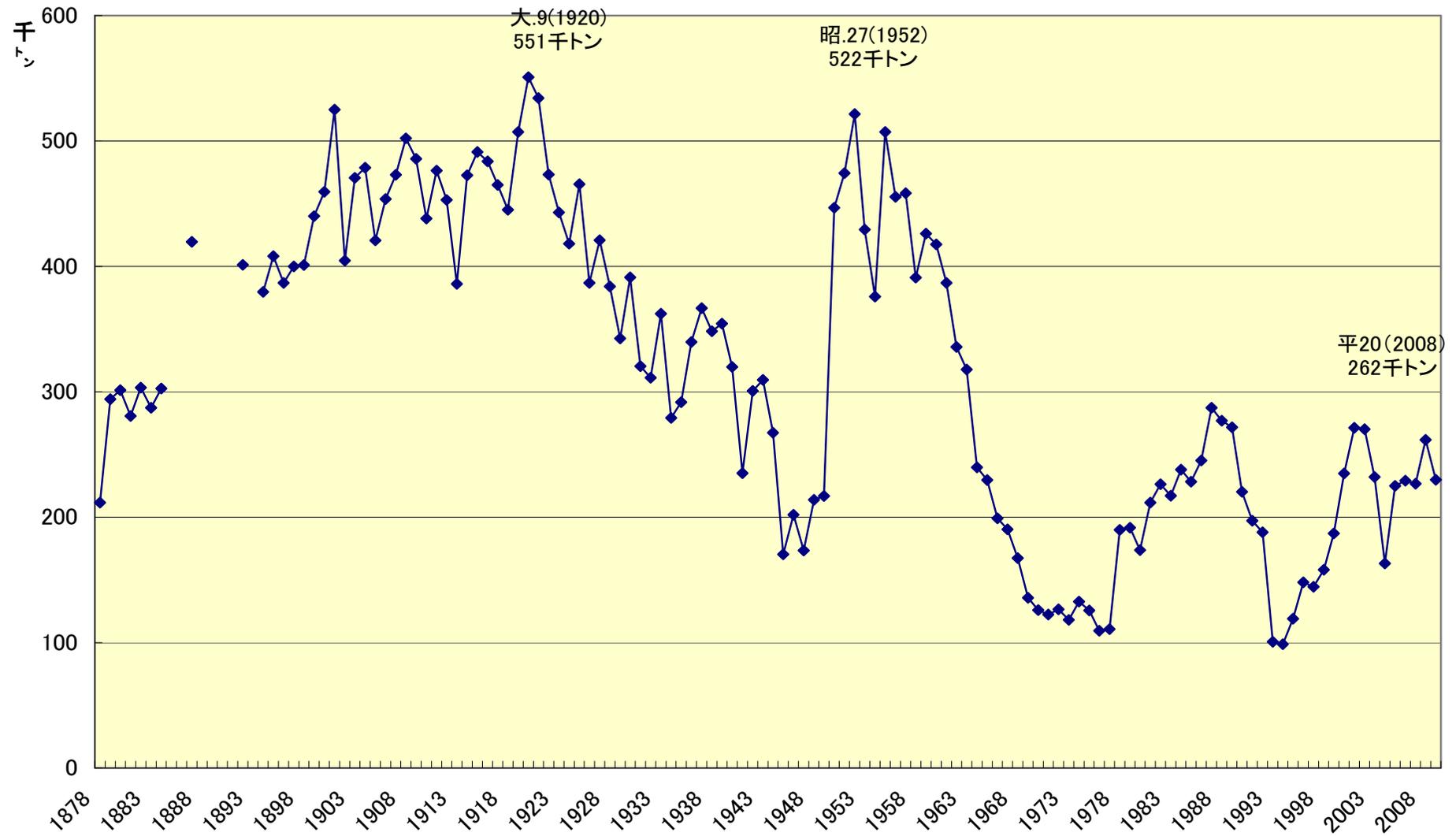


	計	味噌	醤油	豆腐・油揚	納豆	凍豆腐	豆乳	その他
平成10年	1,046	162	26	495	128	30	4	201
平成20年	1,034	137	39	495	128	28	25	182

資料. 農水省総合食料局食品産業振興課推計

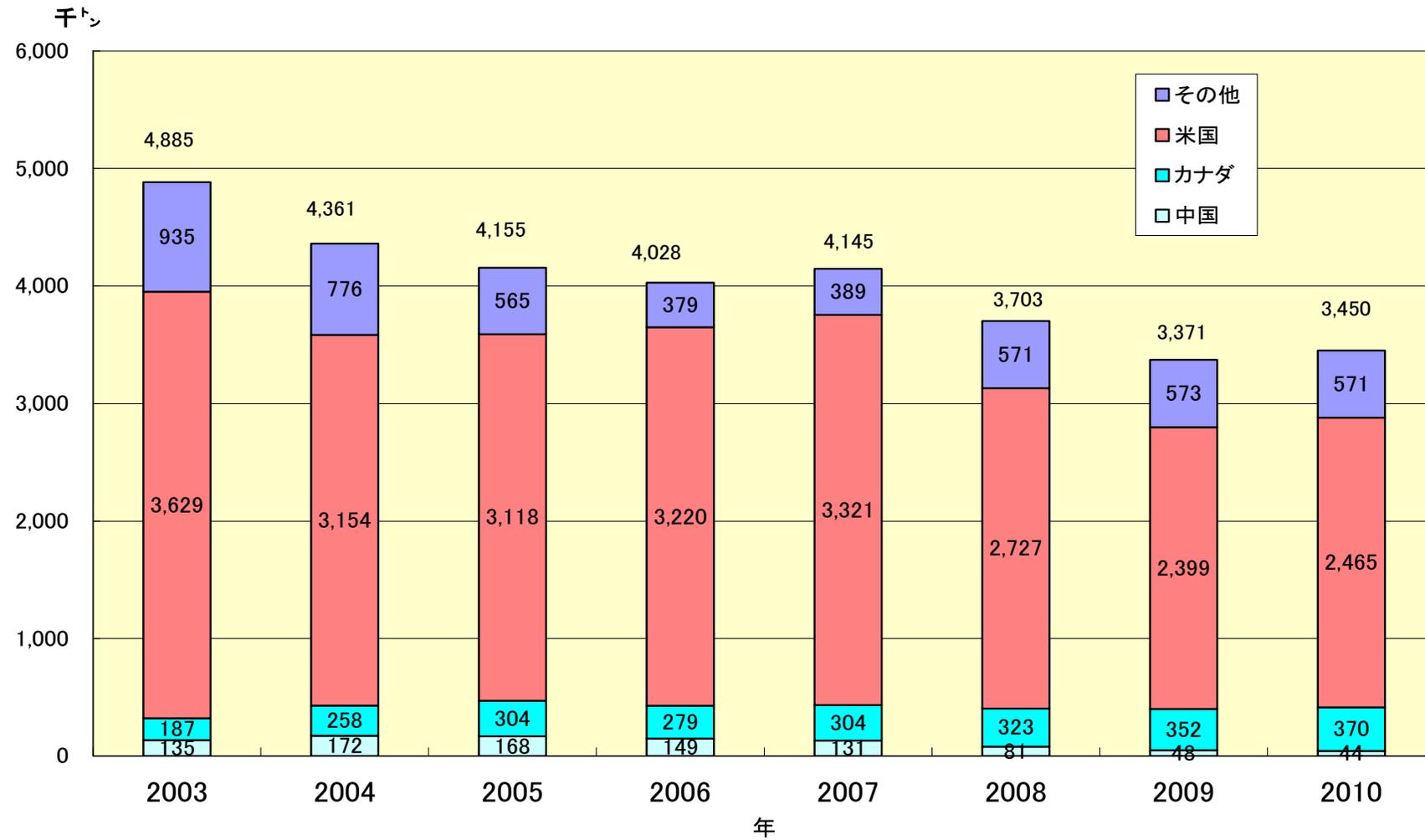
http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/daizu/d_data/pdf/012_youto.pdf

大豆生産量の推移 (1878-2009)



資料. 農水省「作物統計」

大豆輸入数量の推移 (2003-2010暦年)



資料. 財務省「貿易統計」

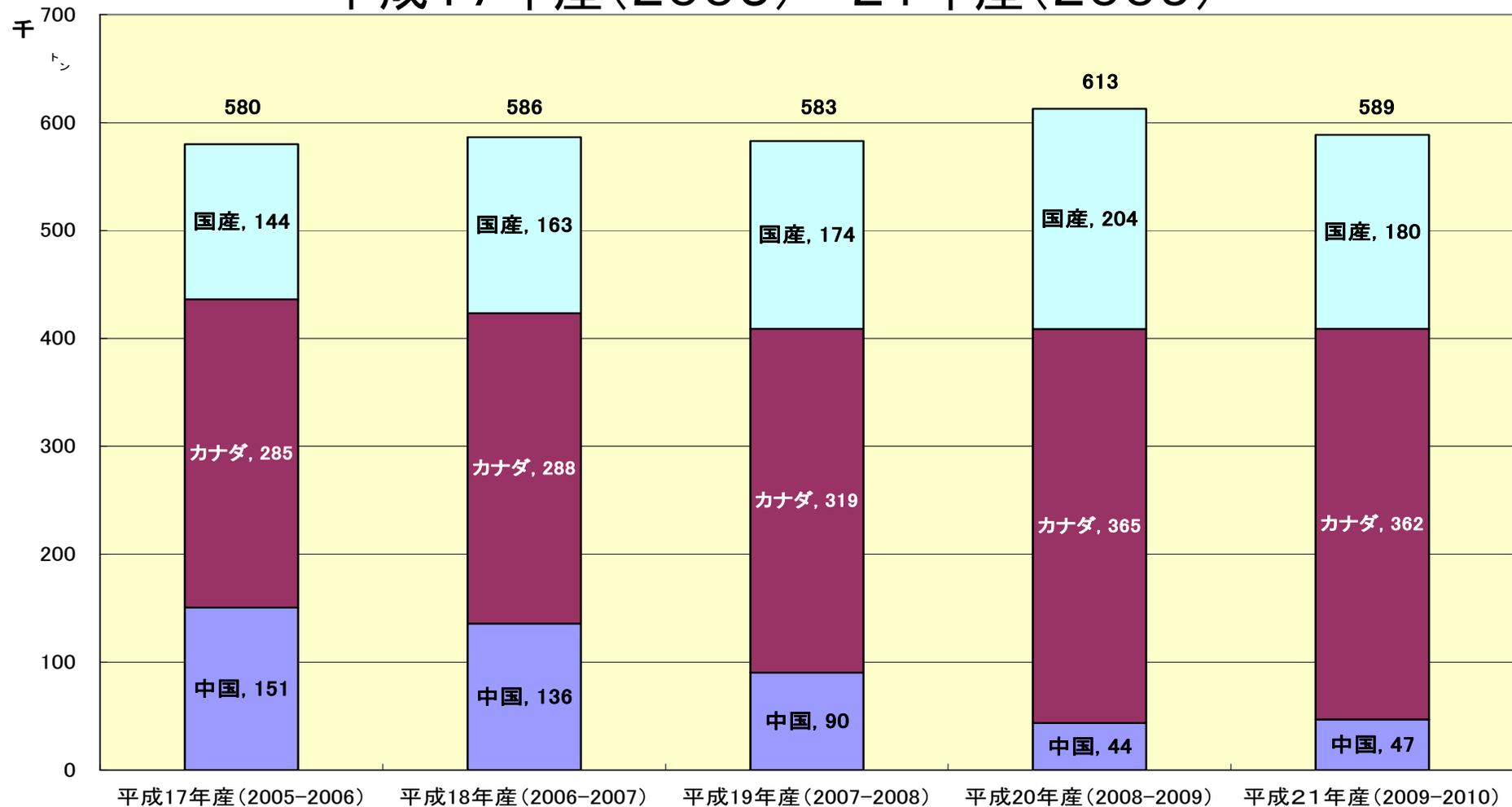
運送形態別大豆輸入数量 (2010暦年)

単位:千トン

区分	総計	中国	カナダ	米国	その他
総量	3,450	44	370	2,465	571
海上コンテナ	742	40	362	310	29
その他	2,709	4	8	2,156	541
海上コンテナの割合	21.5%	91.9%	97.8%	12.6%	5.2%

資料. 前出

国産・カナダ産・中国産大豆の供給数量の推移 平成17年産(2005)－21年産(2009)



資料. 国産は、各年産全農、全集連集荷数量。輸入は、年産区分に対応した11月～翌年10月輸入数量(貿易統計)

国産大豆供給状況推移

(平成17年産～21年産)

単位:ha、トン

事項	平成17年産	平成18年産	平成19年産	平成20年産	平成21年産
作付面積	134,000	142,100	138,300	147,100	145,400
①収穫量	225,000	229,200	226,700	261,700	229,900
②検査数量	156,240	172,780	184,649	218,771	193,446
普通・特定加工用②a	155,010	171,762	183,170	216,862	191,269
種子用	1,231	1,017	1,480	1,909	2,177
③集荷数量	143,679	163,019	173,828	204,013	179,509
①－②	68,760	56,420	42,051	42,929	36,454
②a－③	11,331	8,743	9,342	12,849	11,760
(参考)					
黒大豆主産県作付面積	10,500	9,440			
同上 収穫量	21,100	16,200			
北海道光黒検査数量 (大粒大豆+中粒大豆計)	1,773	193	193	335	266

資料:農水省「作物統計」、「大豆の検査結果」

産地別直接販売数量 (平成21年産)

単位:トン

事 項	全国	北海道	秋田	その他
検査数量	193,448	44,074	10,981	138,393
普通大豆規格外	1,112	2	39	1,071
特定加工用大豆規格外	392	70	0	322
種子大豆合格	2,177	21	148	2,008
食用大豆合格数量	189,767	43,981	10,794	134,992
黒大豆	266	266	0	0
交付金対象数量 A	189,501	43,715	10,794	134,992
全農集荷数量	175,166	35,609	9,441	130,116
全集連集荷数量	4,343	2,511	177	1,655
生産者団体等集荷数量計	179,509	38,120	9,618	131,771
その他数量 B	9,992	5,595	1,176	3,221
B/A	5.3%	12.8%	10.9%	2.4%

注. 黒大豆の数量は、北海道光黒大粒＋中粒合格数量である。

交付金対象数量は、普通大豆、特定加工用大豆合格数量(食用大豆合格数量)から黒大豆合格数量を除いた数量とする。

その他数量が直接販売数量に該当する。

資料. 農水省「大豆の検査結果」。全農、全集連報告資料

直接販売数量の推移

平成19年産－21年産(2007-2009)

単位:トン

年産	平成19年産 (2007)	平成20年産 (2008)	平成21年産 (2009)	前年差	前年比
検査数量	184,649	218,771	193,448	-25,323	88.4%
普通大豆規格外	1,399	1,649	1,112	-537	67.4%
特定加工用大豆規格外	349	460	392	-68	85.2%
種子大豆合格	1,480	1,909	2,177	268	114.0%
食用大豆合格数量	181,421	214,753	189,767	-24,986	88.4%
黒大豆	193	335	266	-69	79.4%
交付金対象数量 A	181,228	214,418	189,501	-24,917	88.4%
全農集荷数量	168,895	198,514	175,166	-23,348	88.2%
全集連集荷数量	4,934	5,493	4,343	-1,149	79.1%
生産者団体等集荷数量計	173,829	204,007	179,509	-24,497	88.0%
その他数量 B	7,399	10,411	9,992	-420	96.0%
B/A	4.1%	4.9%	5.3%		

資料. 前出

平成21年産大豆産地品種別直接販売数量の算定

単位:トン

区分	検査数量A	集荷数量B	A-B=C	B/A	C/A
全国	193,448	179,509	13,939	92.8%	7.2%
北海道	44,074	38,120	5,954	86.5%	13.5%
とよまさり*	29,886	27,883	2,003	93.3%	6.7%
スズマル**	5,848	4,854	994	83.0%	17.0%
ユキシズカ**	3,606	2,687	919	74.5%	25.5%
秋田*	1,066	987	79	92.6%	7.4%
音更大袖振*	775	636	139	82.1%	17.9%
ツルムスメ*	652	486	166	74.5%	25.5%
ハヤヒカリ*	304	304	0	100.0%	0.0%
大袖の舞*	268	30	238	11.2%	88.8%
つるの子*	194	169	25	87.1%	12.9%
ゆきぴりか*	145	32	113	21.9%	78.1%
大袖振*	106	0	106	0.0%	100.0%
タマフクラ*	72	17	55	23.6%	76.4%
秋田県	10,981	9,618	1,363	87.6%	12.4%
リュウホウ*	9,230	8,648	582	93.7%	6.3%
すずさやか*	414	553	-139	133.6%	-33.6%
タチユタカ*	216	270	-54	125.0%	-25.0%
コスズ**	72	72	0	100.0%	0.0%
あきたみどり*	51	0	51	0.0%	100.0%
秋試緑1号*	30	0	30	0.0%	100.0%
その他産地	138,393	131,771	6,622	95.2%	5.0%

注. 全国及び各産地計の検査数量には、種子用数量、規格外数量を含む。

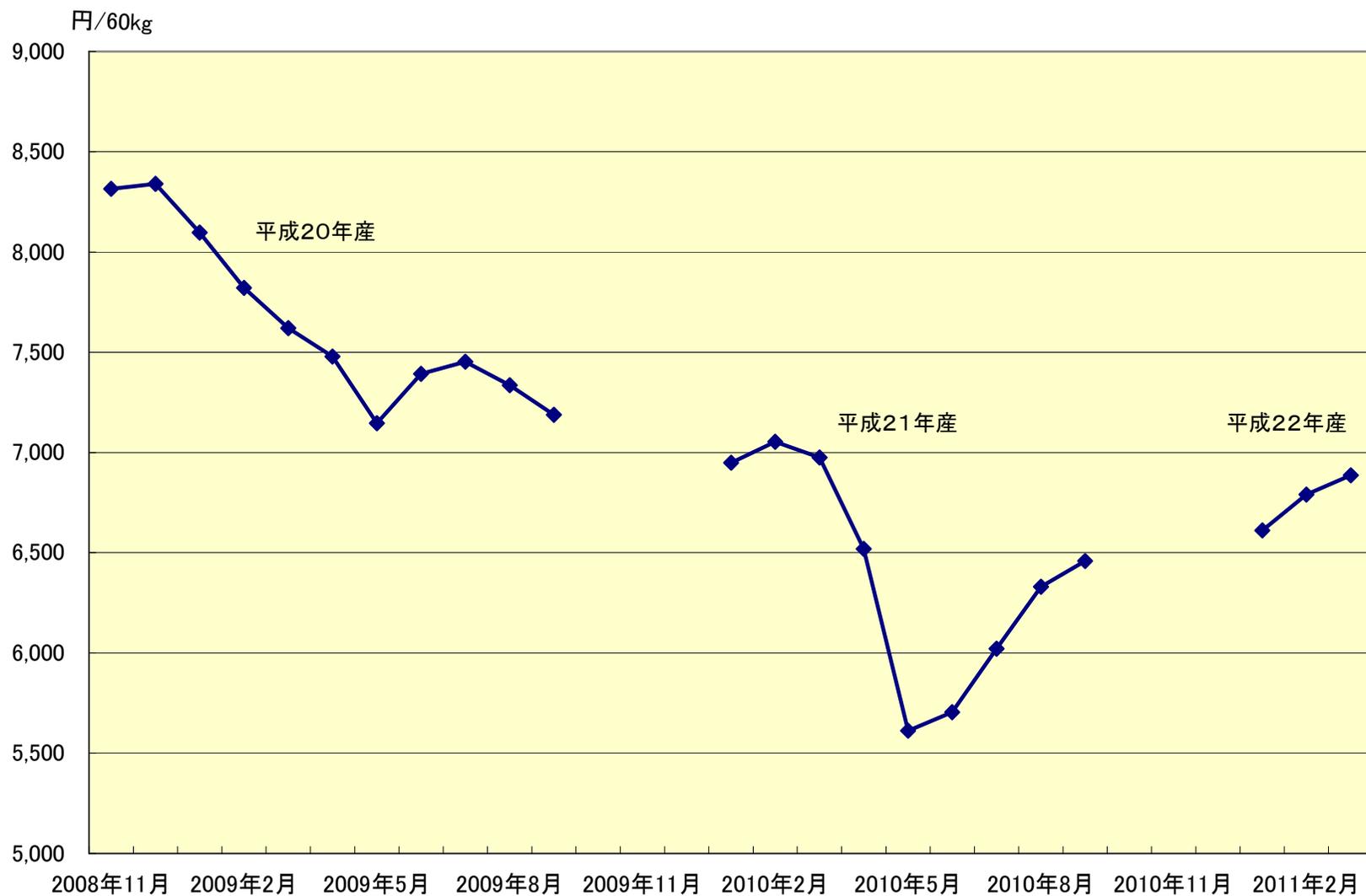
産地品種別検査数量は、*の品種は大粒大豆＋中粒大豆、**の品種は小粒大豆＋極小粒大豆のそれぞれ普通大豆・特定加工用大豆検査数量計(規格外を含む。)である。

集荷数量の産地品種別数量には、例えば、*の品種の場合、粒区分で中粒未満の粒大のため産地品種銘柄に該当しない数量を含む。

資料. 前出

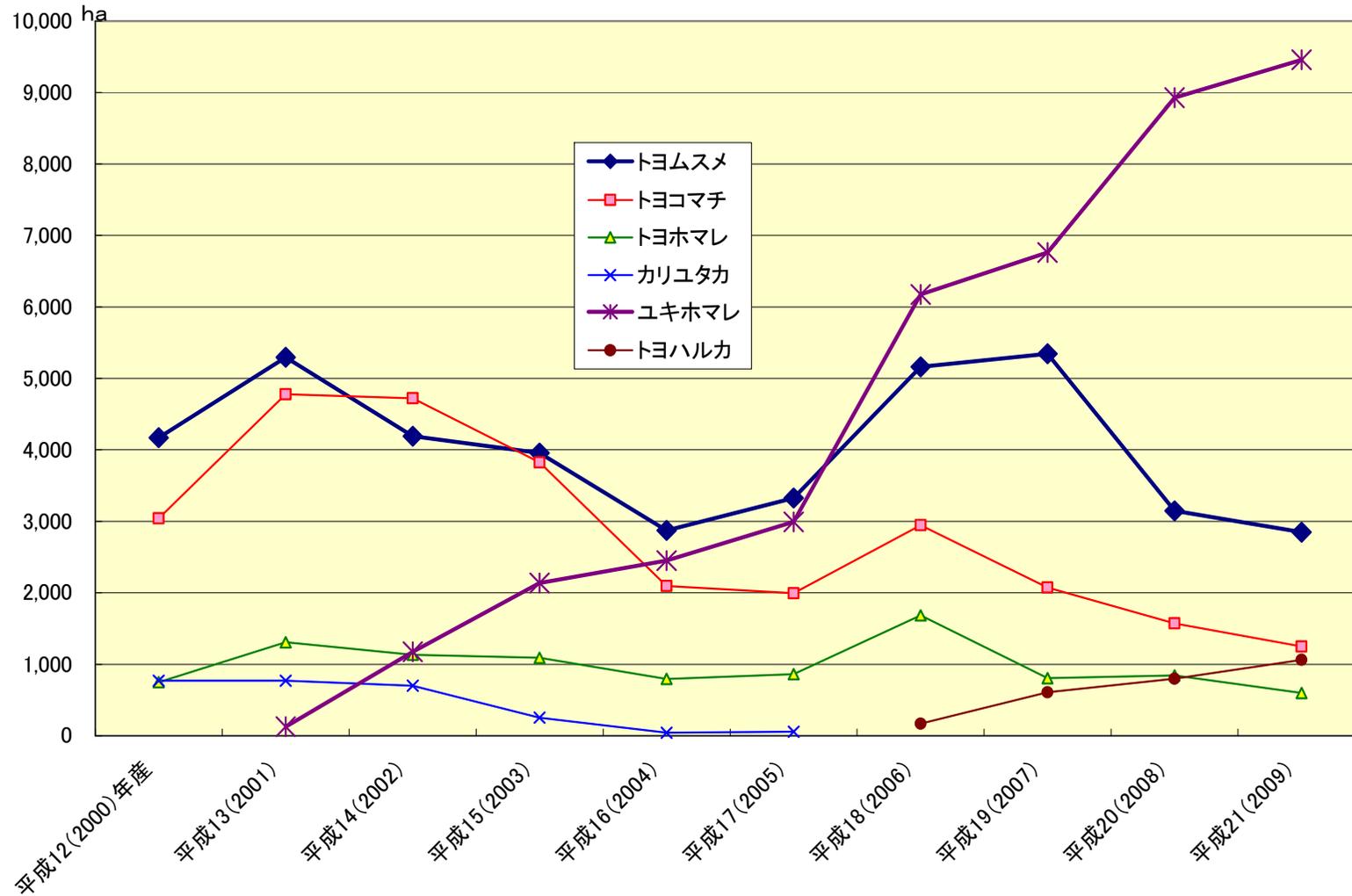
北海道とよまさり月別落札価格の推移

(平成20年11月～23年3月)



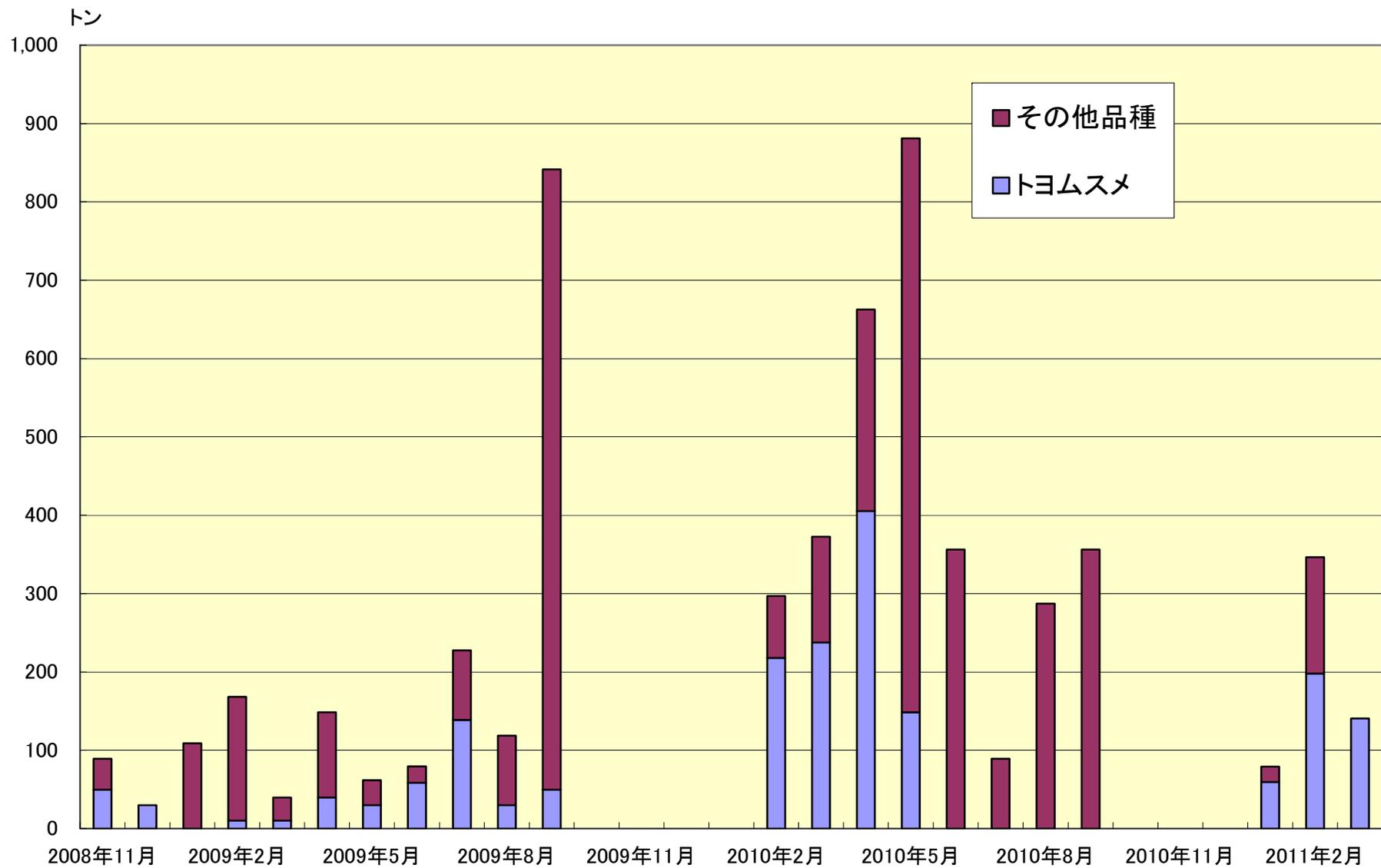
「とよまさり」構成品種作付面積推移

(平成12年産～21年産)

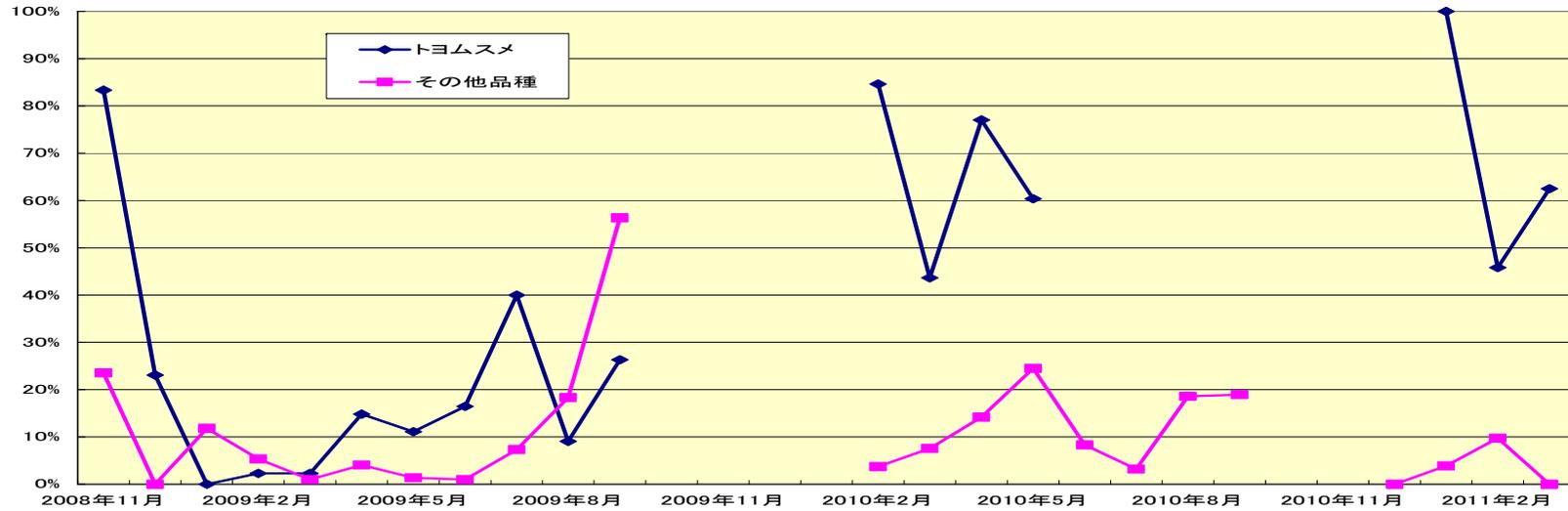


資料. 北海道「麦類・豆類・雑穀便覧」

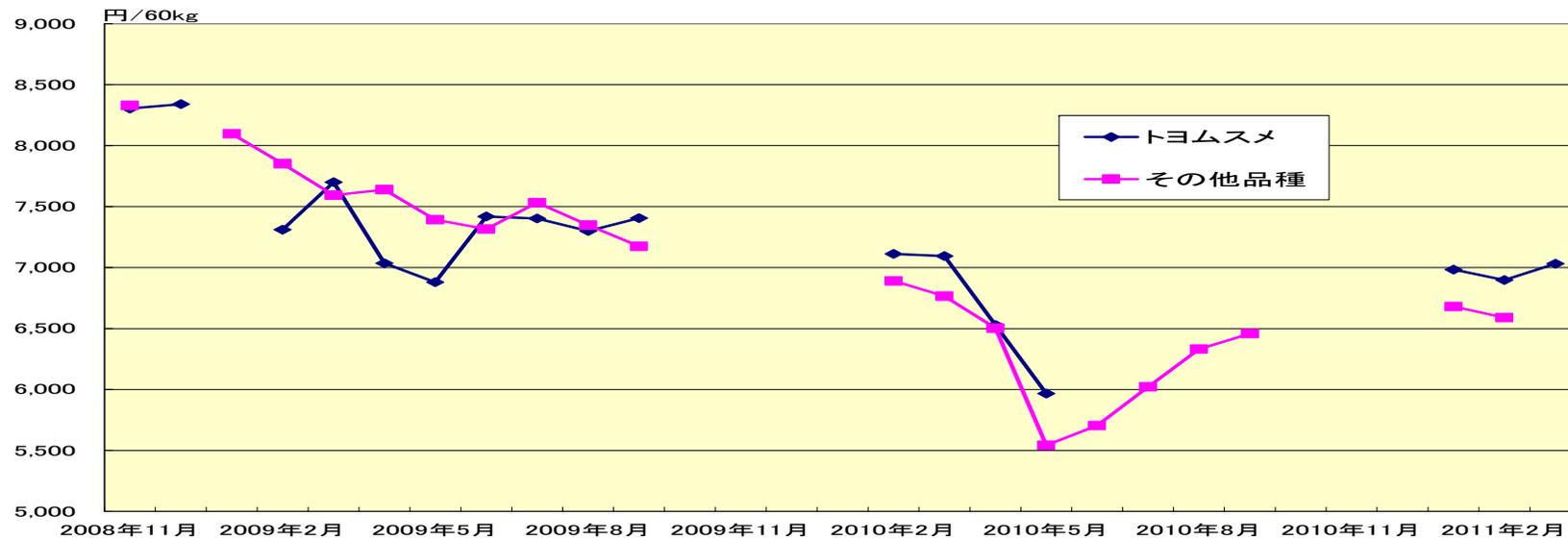
北海道とよまさり月別落札数量・品種構成推移



北海道とよまさり月別品種落札率推移



北海道とよまさり月別品種落札価格推移



北海道とよまさり品種別落札状況年産別推移

(平成18年産～21年産)

単位:トン

事項	品種区分	平成18年産 (2006)	平成19年産 (2007)	平成20年産 (2008)	平成21年産 (2009)
上場数量	トヨムスメ	3,615	2,061	2,882	1,574
	その他品種	18,877	10,596	17,874	20,153
	計	22,492	12,657	20,756	21,727
落札数量	トヨムスメ	1,628	1,220	445	1,009
	その他品種	6,434	5,245	1,469	2,361
	計	8,062	6,465	1,913	3,371
落札価格	トヨムスメ	7,467	7,558	7,498	6,704
	その他品種	7,653	8,286	7,429	6,079
	計	7,606	8,149	7,445	6,266
落札率	トヨムスメ	45.0%	59.2%	15.4%	64.1%
	その他品種	34.1%	49.5%	8.2%	11.7%
	計	35.8%	51.1%	9.2%	15.5%

大豆の用途別需要量

単位：千トン、%

用途	需要量	うち国産	比率
油糧用	4,296	0	0
食品用	1,052	218	21
豆腐	496	134	27
煮豆・そう菜	33	29	88
納豆	136	15	11
みそ・しょうゆ	171	12	7
その他	215	28	13

資料：農林水産省「平成19年度食料・農業・農村白書参考統計表」

フクユタカ年産別主産県集荷・落札状況
(平成19年産～21年産)

単位:トン、円/60kg

事項	産地	平成19年産 (2007)	平成20年産 (2008)	平成21年産 (2009)
集荷数量	東海3県計	13,656	13,628	8,035
	滋賀	2,387	2,998	2,943
	九州3県計	32,591	39,335	35,968
落札数量	東海3県計	7,842	3,259	1,567
	滋賀	867	515	257
	九州3県計	10,046	4,090	2,202
入札取引 販売割合	東海3県計	57.4%	23.9%	19.5%
	滋賀	36.3%	17.2%	8.7%
	九州3県計	30.8%	10.4%	6.1%
落札価格	東海3県計	6,944	6,934	7,498
	滋賀	6,751	6,793	6,638
	九州3県計	6,760	6,989	6,801

注. 東海3県:岐阜県、愛知県、三重県 九州3県:福岡県、佐賀県、熊本県

エンレイ年産別主産県集荷・落札状況 (2007～2009)

単位：トン、円／60kg

事項	産地	平成19年産 (2007)	平成20年産 (2008)	平成21年産 (2009)
集荷数量	北陸4県計	14,672	22,187	19,899
	山形	3,464	4,704	4,457
	主産県計	18,135	26,891	24,356
落札数量	北陸4県計	6,619	3,209	1,863
	山形	1,293	248	377
	主産県計	7,911	3,456	2,240
入札取引販売割合	北陸4県計	45.1%	14.5%	9.4%
	山形	37.3%	5.3%	8.5%
	主産県計	43.6%	12.9%	9.2%
落札価格	北陸4県計	6,561	6,631	6,319
	山形	6,597	6,649	6,209
	主産県計	6,567	6,632	6,300

注. 北陸4県：新潟県、富山県、石川県、福井県

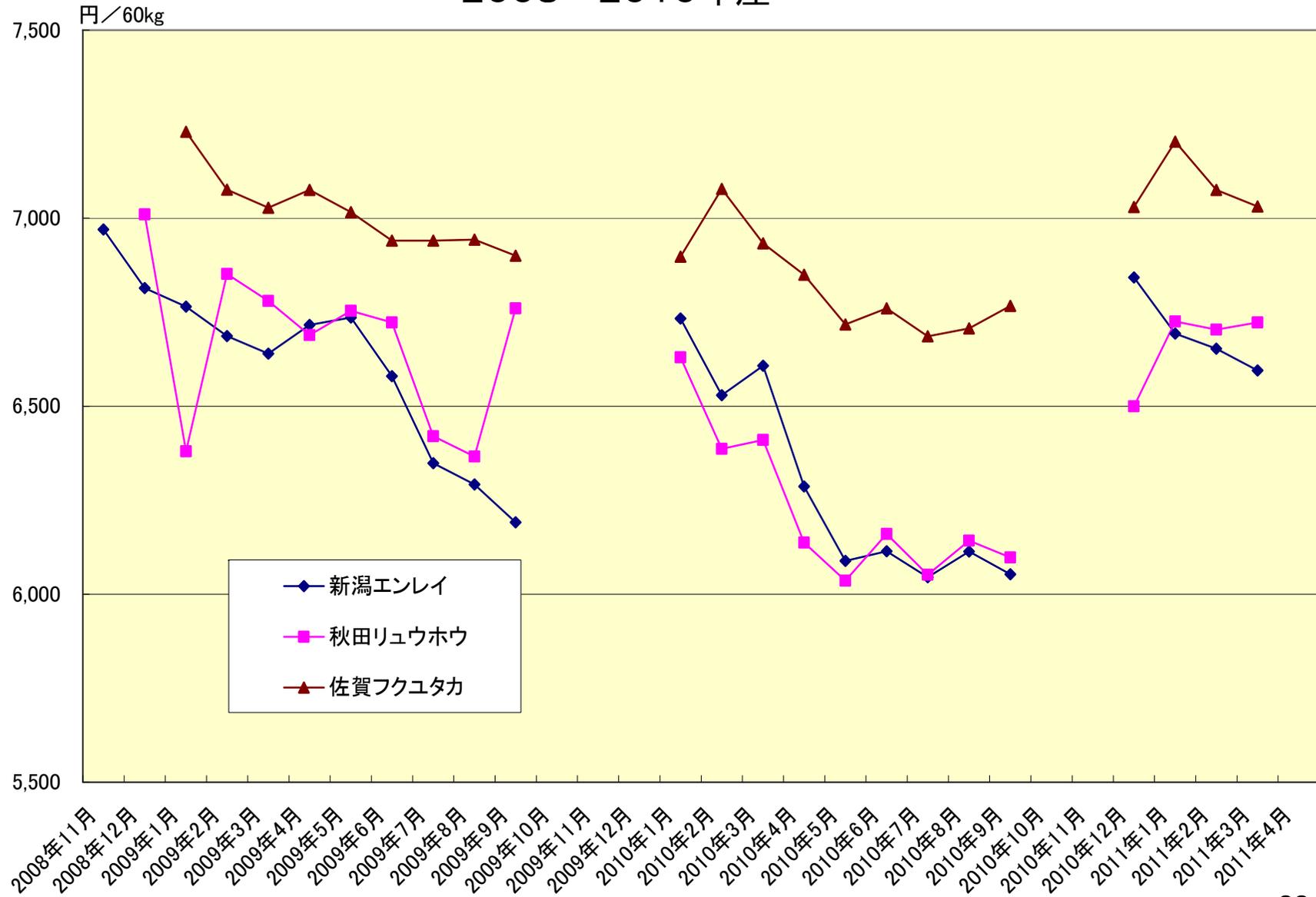
リュウホウ年産別主産県集荷・落札状況 (平成19年産～21年産)

単位:トン、円/60kg

事項	産地	平成19年産 (2007)	平成20年産 (2008)	平成21年産 (2009)
集荷数量	3県計	9,116	14,094	11,468
落札数量	3県計	3,901	1,030	776
入札取引 販売割合	3県計	42.8%	7.3%	6.8%
落札価格	3県計	6,585	6,651	6,152

注. 3県:岩手県、秋田県、山形県

主要な豆腐仕向銘柄の月別落札価格の推移 2008-2010年産



納豆仕向主要銘柄の集荷数量・落札数量

単位:トン

区分	年産	北海道		茨城	小計
		スズマル	ユキシズカ	納豆小粒	
集荷数量	平成19年産(2007)	4,760	688	1,701	7,148
	平成20年産(2008)	5,726	1,820	2,155	9,701
	平成21年産(2009)	4,854	2,687	2,376	9,916
落札数量	平成19年産(2007)	1,515	228	476	2,219
	平成20年産(2008)	381	253	347	981
	平成21年産(2009)	327	386	169	882
落札数量 ／ 集荷数量	平成19年産(2007)	31.8%	33.2%	28.0%	31.0%
	平成20年産(2008)	6.6%	13.9%	16.1%	10.1%
	平成21年産(2009)	6.7%	14.4%	7.1%	8.9%

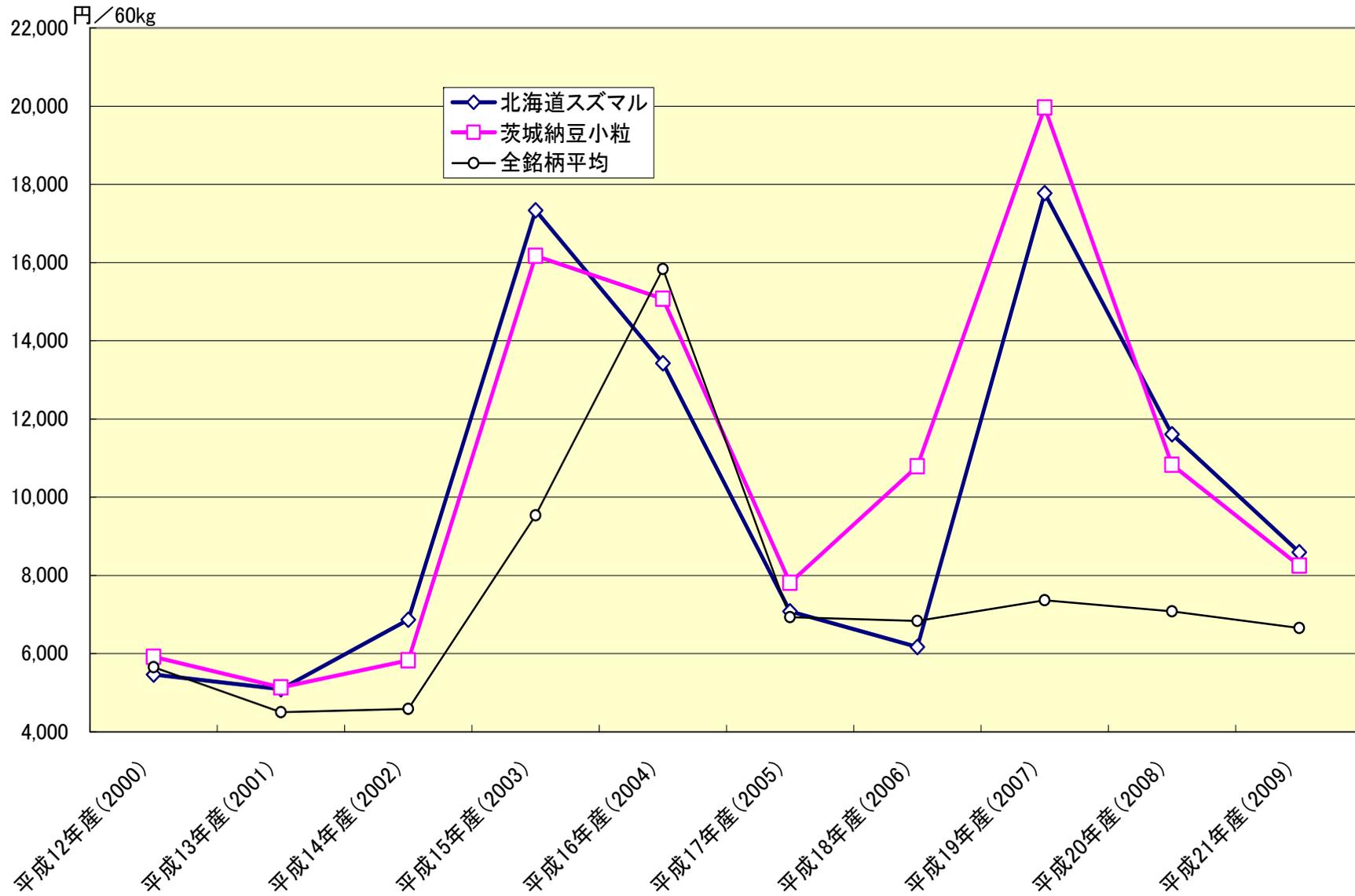
北海道スズマル・茨城納豆小粒の年産別平均落札価格の推移

単位：円／60kg

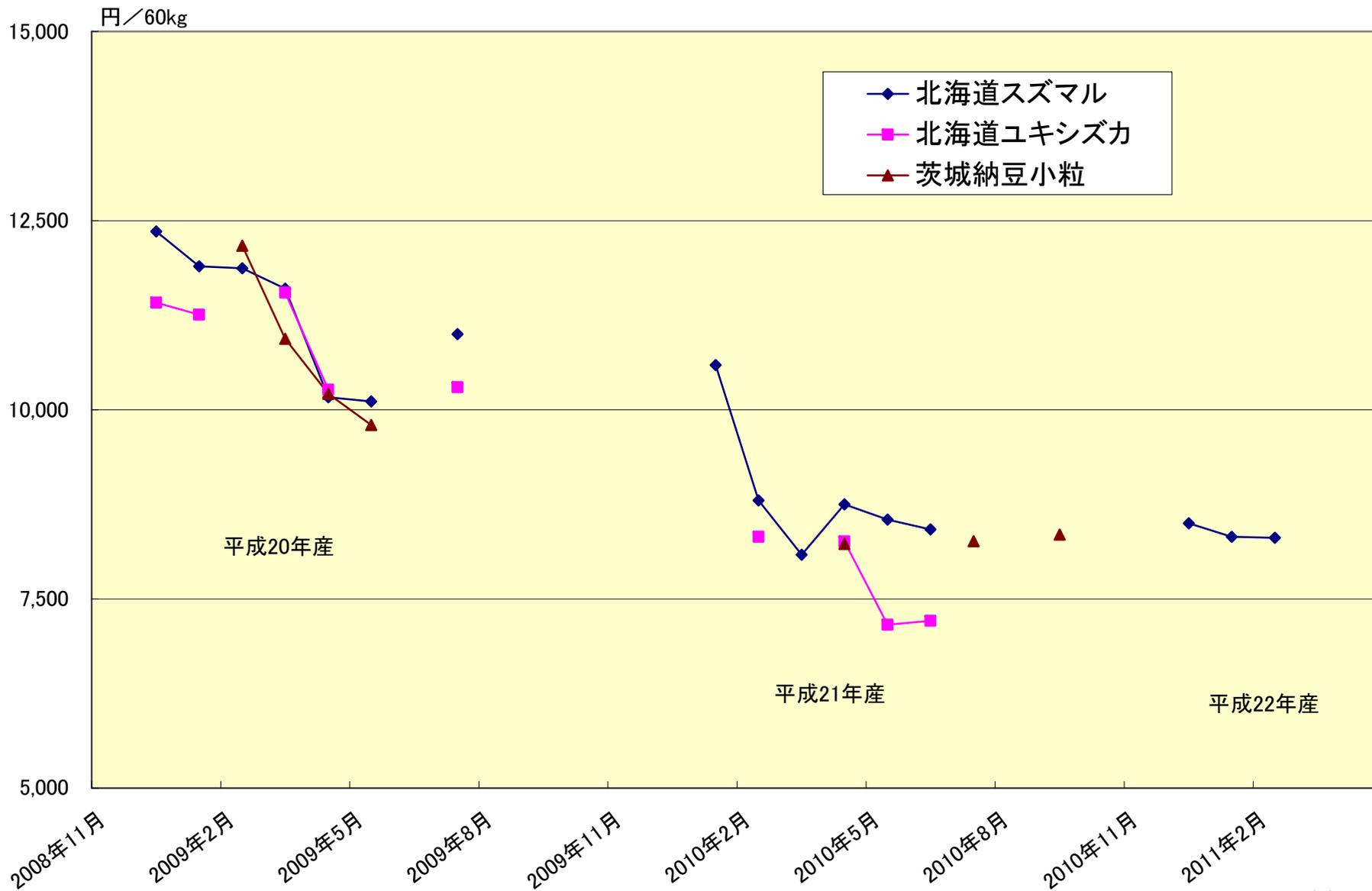
	北海道スズマル	茨城納豆小粒	全銘柄平均落札価格
平成12年産(2000)	5,468	5,922	5,653
平成13年産(2001)	5,095	5,140	4,501
平成14年産(2002)	6,871	5,831	4,585
平成15年産(2003)	17,336	16,170	9,536
平成16年産(2004)	13,424	15,074	15,836
平成17年産(2005)	7,081	7,815	6,931
平成18年産(2006)	6,170	10,792	6,835
平成19年産(2007)	17,777	19,967	7,364
平成20年産(2008)	11,611	10,832	7,079
平成21年産(2009)	8,594	8,251	6,654

1-8-3

北海道スズマル・茨城納豆小粒の年産別平均落札価格の推移(グラフ)

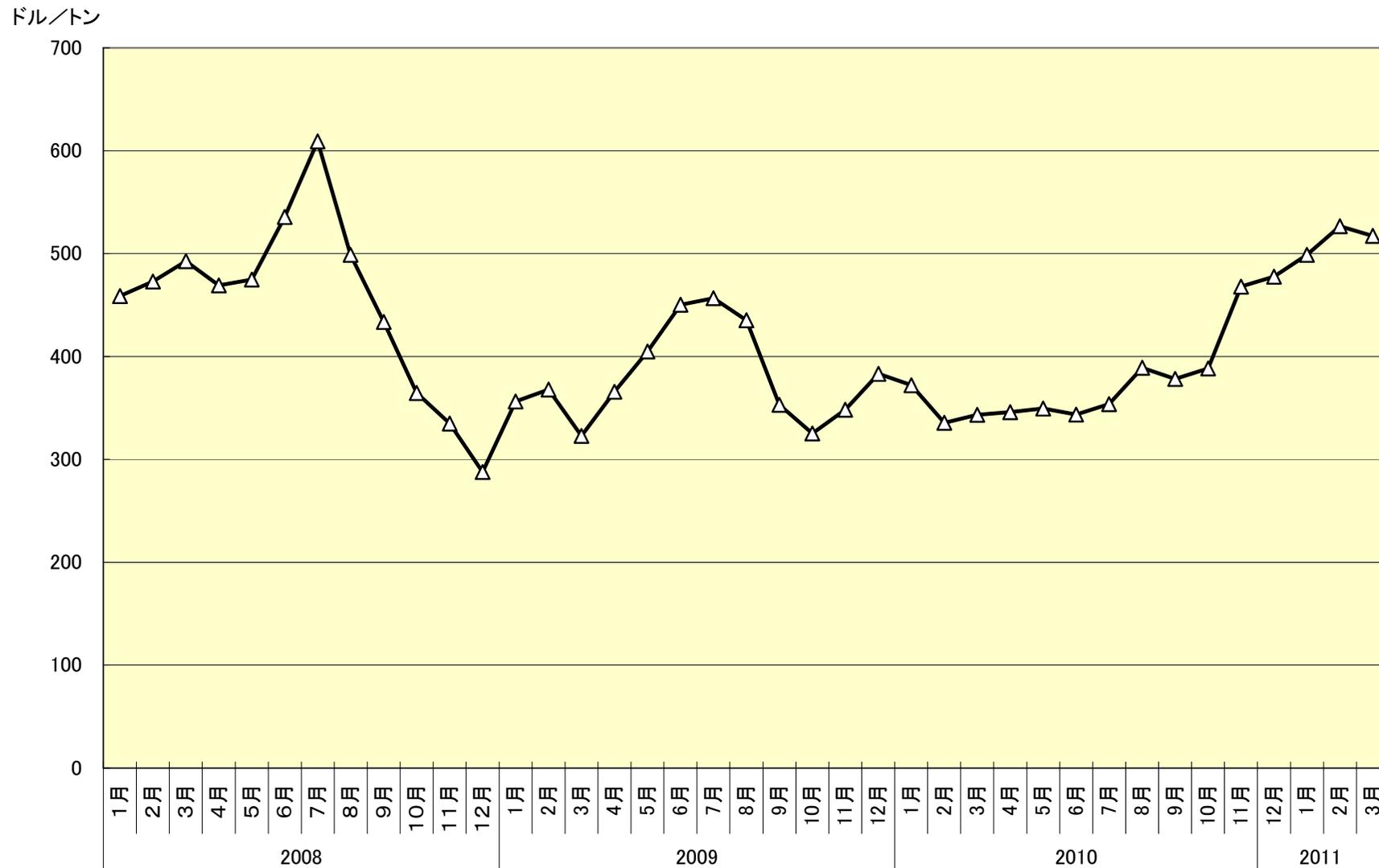


納豆仕向主要産地品種銘柄落札価格推移



1-9-1

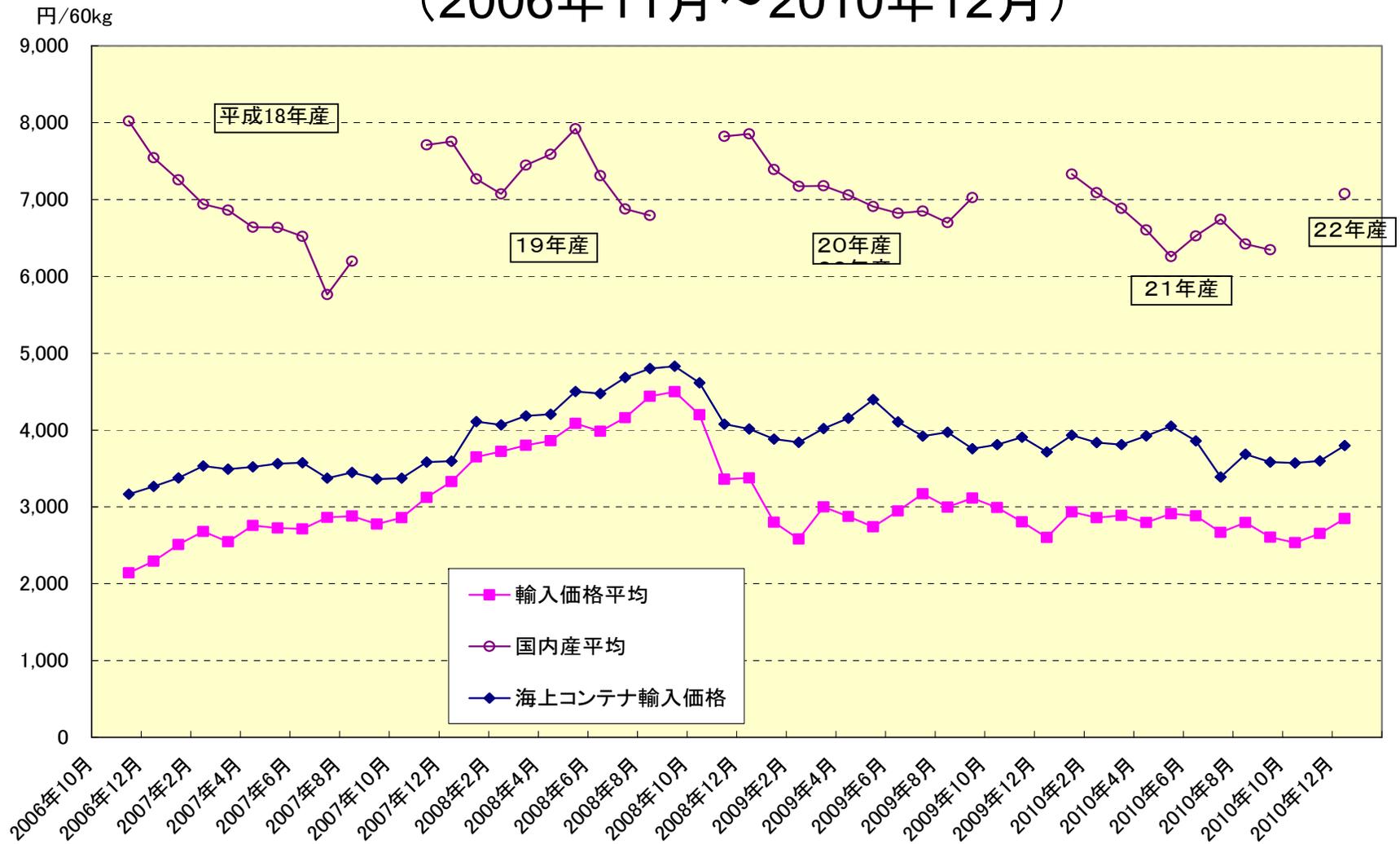
大豆国際価格の推移



資料. 農林水産省大臣官房食料安全保障課

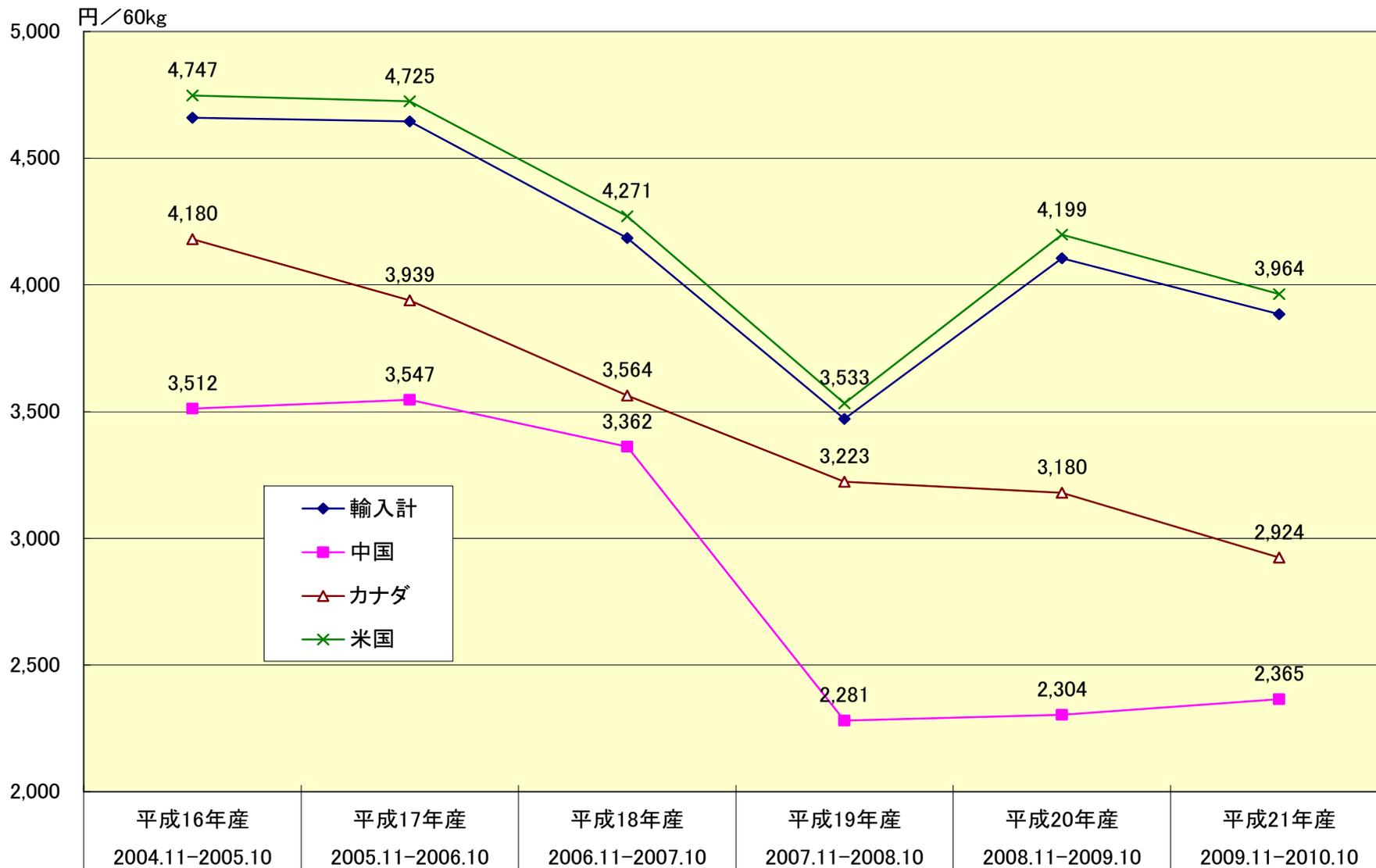
注. 各月シカゴ商品取引所の第1金曜日の期近価格

内外月別大豆価格の推移 (2006年11月～2010年12月)



注. 国内産平均は、平均落札価格
輸入価格は、財務省貿易統計による。

年産別大豆価格内外価格差推移



注. 国産の年産別平均落札価格とその出回り時期の輸入大豆の平均価格の較差の推移を示した。
資料. 財務省「貿易統計」

日本政策金融公庫「消費者動向調査」による国産品へのこだわりの推移

食料品を購入するとき／外食するときの国産品へのこだわり

単位：％

食料品を購入するとき				外食するとき		
調査時期	気にかける	気にかけない	食料品は購入しない	気にかける	気にかけない	外食はしない
H20／5	84.4	15.7	0.0	44.1	47.2	8.8
H20／12	85.3	13.4	1.3	42.1	53.9	4.1
H21／7	79.4	19.0	1.7	36.7	58.6	4.8
H22／1	77.7	21.0	1.4	33.7	61.0	5.4
H22／6	74.6	22.9	2.6	30.7	63.3	6.1
H22／12	73.4	24.6	2.0	33.8	60.3	6.0

国産原料の食品に対するイメージ

事項	価格			安全性		
	安い	どちらとも いえない	高い	安全である	どちらとも いえない	安全面に問題がある
調査時期						
H20／12	2.4	25.4	72.1	67.1	23.3	9.6
H21／7	2.6	21.6	75.9	54.9	43.7	1.5
H22／1	2.3	15.7	68.9	71.5	24.6	4.0
H22／6	3.7	27.5	68.9	62.8	33.3	4.0
H22／12	2.9	26.4	70.8	67.7	28.4	4.0

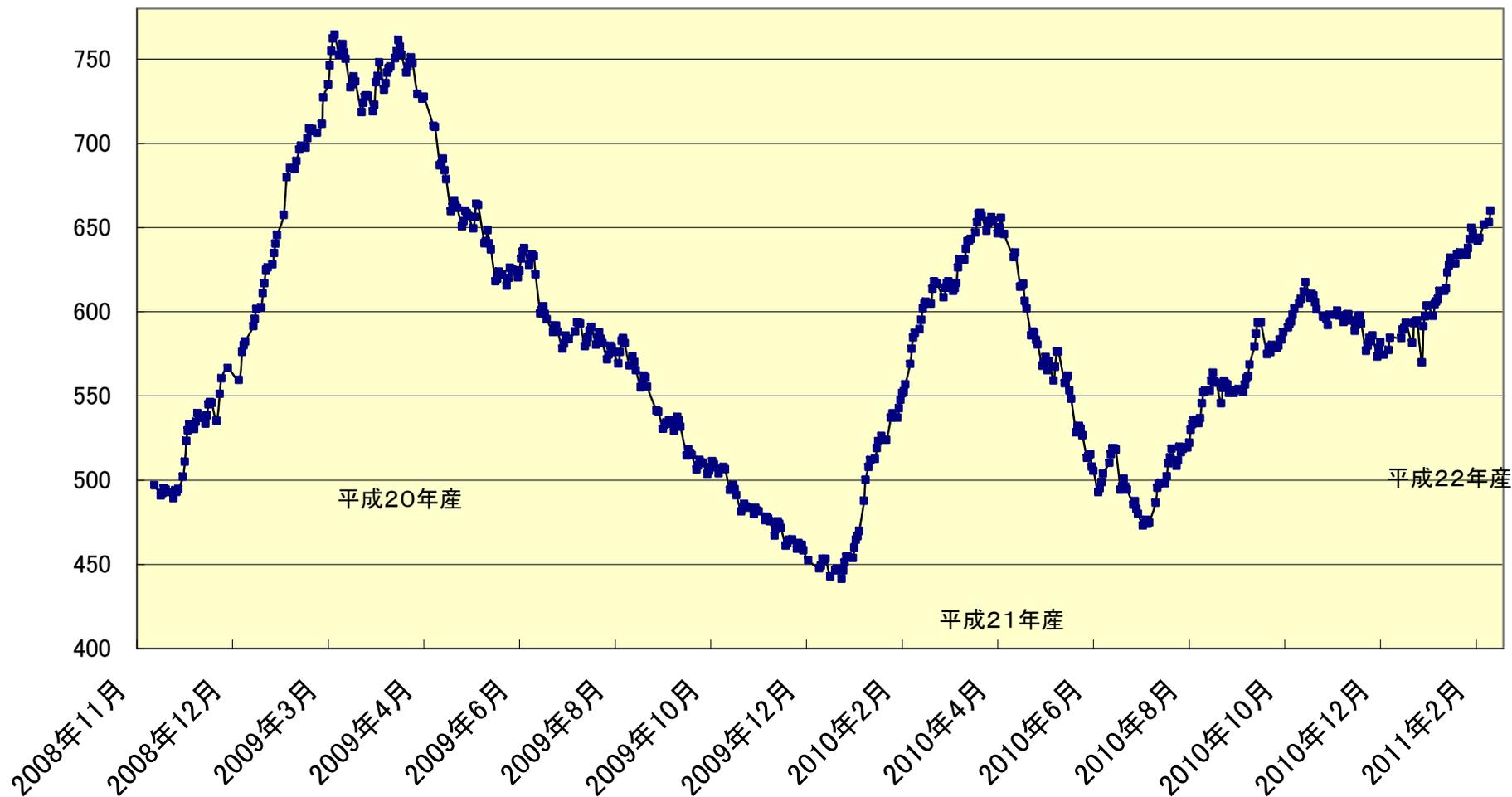
事項	おいしさ			見た目		
	おいしい	どちらとも いえない	おいしくない*	色・形がよい	どちらとも いえない	色・形が悪い
調査時期						
H20／12	64.5	31.7	3.8	42.7	52.7	4.6
H21／7	54.9	43.7	1.5	42.2	56.1	1.8
H22／1	59.7	37.5	2.9	42.9	54.2	3.0
H22／6	55.0	42.1	3.0	39.4	58.4	2.3
H22／12	58.8	38.8	2.5	41.5	56.2	2.4

資料. 日本政策金融公庫「消費者動向等調査」レポートから引用。
全国20歳代から60歳代までの2000人を対象としたインターネット調査

注. * : H20／12、H21／7調査では「まずい」

大豆入札取引ページへのリクエスト数の推移

(2008年11月～2011年2月)



注. リクエスト数とは、インターネットホームページの閲覧者が閲覧したページ数である。
 グラフは、日ごとの過去100日間の移動平均値をプロットしたものである。